



## 2020年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月14日

上場会社名 株式会社シー・エス・ランバー 上場取引所 東  
 コード番号 7808 URL <https://www.c-s-lumber.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 千代助  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木 正裕 (TEL) 043-213-8810  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	7,478	—	527	—	502	—	297	—
2019年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 309百万円(—%) 2019年5月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	164.03	163.21
2019年5月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年5月期より決算期(事業年度の末日)を5月31日に変更いたしました。これに伴い、2019年5月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年5月期第2四半期の前年同四半期増減率及び2019年5月期第2四半期の連結経営成績(累計)については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第2四半期	13,975	3,017	21.6
2019年5月期	13,454	2,747	20.4

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 3,017百万円 2019年5月期 2,747百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	—	—	22.00	22.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	15,190	—	920	—	870	—	500	—	275.44	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2019年5月期より決算期(事業年度の末日)を5月31日に変更いたしました。これに伴い、決算期変更の経過期間となる2019年5月期は、2018年12月1日から2019年5月31日までの6か月間となっております。このため、対前期増減率については記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	1,815,300株	2019年5月期	1,815,300株
② 期末自己株式数	2020年5月期2Q	一株	2019年5月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	1,815,300株	2019年5月期2Q	一株

(注)2019年5月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2020年1月29日(水)に開催予定の、アナリスト向け説明会において配布いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2019年5月期より決算期（事業年度の末日）を5月31日に変更いたしました。これに伴い、前連結会計年度は2018年12月1日から2019年5月31日までの6か月決算となっており、前第2四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、自然災害の影響と消費税増税によって個人消費中心に一時的な下振れがありましたが、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の先行きは、米中貿易摩擦等による世界的な財貿易の伸びの低下、欧米の政治動向など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する住宅関連業界におきましては、賃貸住宅の施工不良の発覚や金融機関の融資厳格化に伴い、新設着工戸数は減少したものの、低水準の住宅ローン金利や政府による各種住宅取得支援策の継続、消費税増税前の駆け込み需要により、分譲一戸建住宅の新設住宅着工戸数は増加となりました。また、木材価格の動向といたしましては、引き続き下落傾向で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは「中期経営計画2022」で掲げた成長基盤整備に取り組み、プレカット事業での建て方を増員、ログハウスの加工100%内製化、保育所賃貸施設用地の取得準備に加え、生産効率・配送効率の改善等を進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,478百万円、営業利益は527百万円、経常利益は502百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は297百万円となりました。

なお、特別損失のうち災害による損失は、2019年9月に発生した台風によるものであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① プレカット事業

当セグメントにおきましては、台風15号による停電の影響で操業を一時停止しましたが、発電機をレンタルするなどして、早期の操業再開が出来た為に被害は限定的でした。在来部門においては、消費税増税前の駆け込み需要等による新規先、既存先からの受注が好調に推移し、出荷棟数2,457棟、出荷坪数83千坪となりました。ツーバイフォー部門は、戸建の受注拡大に注力したものの貸家の受注低迷が響き、出荷棟数697棟、出荷坪数37千坪となりました。

損益面では、材料コストの削減、生産効率、配送効率の改善に取り組みました。

その結果、売上高は6,186百万円、セグメント利益は335百万円となりました。

#### ② 建築請負事業

当セグメントにおきましては、受注強化に注力し、完工棟数は80棟、うち保育園・共同貸家住宅等の大型木造施設7棟となりましたが、管理監督不足を起因とした施工ミスが発生し、売上高は1,384百万円、セグメント損失は42百万円となりました。

#### ③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、主力としております保育所、介護施設向け賃貸施設により安定した賃料を維持しております。また、2020年4月開所予定の4つの保育所施設からの礼金収入と賃料収入もありました。

その結果、売上高は273百万円、セグメント利益は201百万円となりました。

#### ④ その他事業

当セグメントには、不動産販売事業を区分しております。

不動産販売事業におきましては、販売活動に注力し、戸建て住宅4戸を引き渡しました。

その結果、売上高は99百万円、セグメント利益は7百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて520百万円増加して13,975百万円となりました。これは主に、たな卸資産が246百万円、現金及び預金が195百万円、受取手形及び売掛金が61百万円増加したことによるものであります。

### ②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて251百万円増加して10,958百万円となりました。これは主に、長期借入金が138百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が168百万円、その他流動負債が172百万円増加したことによるものであります。

### ③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて269百万円増加して3,017百万円となりました。これは主に、利益剰余金の親会社株主に帰属する四半期純利益による増加と配当による減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、賃貸住宅の建築が低迷等により売上高が前回公表した予想を下回る見込みであること、製造部門における歩留り向上や配送能力の向上などによる原価削減により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表した業績予想を上回る見込みであること等により、修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年1月14日)公表いたしました「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,748,754	1,944,205
受取手形及び売掛金	2,370,739	2,431,777
たな卸資産	1,163,585	1,410,206
その他	105,809	119,524
貸倒引当金	△6,684	△8,539
流動資産合計	5,382,205	5,897,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,060,756	1,018,522
土地	1,459,357	1,459,357
建設仮勘定	20,474	28,019
賃貸不動産(純額)	4,159,439	4,210,965
その他	744,597	784,052
有形固定資産合計	7,444,625	7,500,917
無形固定資産	166,995	163,449
投資その他の資産		
投資その他の資産	485,872	446,592
貸倒引当金	△25,112	△32,570
投資その他の資産合計	460,760	414,022
固定資産合計	8,072,380	8,078,389
資産合計	13,454,585	13,975,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,678,096	2,846,514
短期借入金	1,459,778	1,485,780
1年内返済予定の長期借入金	317,155	335,170
未払法人税等	192,010	174,310
賞与引当金	7,064	—
工事損失引当金	—	10,045
その他	985,702	1,157,702
流動負債合計	5,639,806	6,009,524
固定負債		
長期借入金	3,986,394	3,848,291
完成工事補償引当金	51,695	55,702
役員退職慰労引当金	145,978	141,812
退職給付に係る負債	135,481	141,735
資産除去債務	2,901	2,900
その他	744,444	758,062
固定負債合計	5,066,896	4,948,505
負債合計	10,706,703	10,958,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	521,641	521,641
資本剰余金	307,085	307,085
利益剰余金	1,847,472	2,105,303
株主資本合計	2,676,199	2,934,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,969	85,119
為替換算調整勘定	△1,287	△1,616
その他の包括利益累計額合計	71,682	83,503
純資産合計	2,747,882	3,017,533
負債純資産合計	13,454,585	13,975,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年11月30日)
売上高	7,478,351
売上原価	5,881,092
売上総利益	1,597,258
販売費及び一般管理費	1,069,828
営業利益	527,430
営業外収益	
受取利息	435
受取配当金	3,680
受取賃貸料	18,081
その他	13,513
営業外収益合計	35,711
営業外費用	
支払利息	46,161
賃貸費用	10,728
その他	3,583
営業外費用合計	60,473
経常利益	502,668
特別損失	
固定資産除却損	24,321
災害による損失	2,255
特別損失合計	26,576
税金等調整前四半期純利益	476,092
法人税、住民税及び事業税	167,280
法人税等調整額	11,044
法人税等合計	178,324
四半期純利益	297,767
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,767

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	297,767
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	12,150
為替換算調整勘定	△329
その他の包括利益合計	11,820
四半期包括利益	309,588
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	309,588

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	476,092
減価償却費	200,043
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9,312
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,064
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	10,045
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	4,006
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4,166
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,254
受取利息及び受取配当金	△4,115
支払利息	46,161
固定資産除却損	24,321
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,335
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△246,620
仕入債務の増減額 (△は減少)	168,417
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,252
その他	94,624
小計	779,230
利息及び配当金の受取額	3,733
利息の支払額	△43,247
法人税等の支払額	△185,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	554,160
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△31,375
定期預金の払戻による収入	31,125
固定資産の取得による支出	△113,816
投資有価証券の取得による支出	△3,675
貸付けによる支出	△500
貸付金の回収による収入	19,398
その他	△2,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,906
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	133,002
短期借入金の返済による支出	△107,000
長期借入れによる収入	37,000
長期借入金の返済による支出	△157,087
リース債務の返済による支出	△102,694
長期未払金の返済による支出	△21,076
配当金の支払額	△39,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,725
現金及び現金同等物に係る換算差額	△329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	195,198
現金及び現金同等物の期首残高	1,714,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,909,360

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレカット	建築請負	不動産賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,756,490	1,350,021	272,505	7,379,017	99,333	7,478,351	—	7,478,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	429,900	34,817	600	465,318	—	465,318	△465,318	—
計	6,186,390	1,384,839	273,105	7,844,335	99,333	7,943,669	△465,318	7,478,351
セグメント利益又は損失(△)	335,487	△42,571	201,233	494,149	7,581	501,731	25,699	527,430

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産販売事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間の取引消去34,620千円、未実現利益の調整額△8,924千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、2019年5月期より決算期（事業年度の末日）を5月31日に変更いたしました。これに伴い、前連結会計年度は2018年12月1日から2019年5月31日までの6か月決算となっております。そのため、参考値として前連結会計年度（自 2018年12月1日 至 2019年5月31日）の状況を記載しております。

## ① 生産実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
プレカット事業	5,527,943	5,826,764
建築請負事業	—	—
不動産賃貸事業	—	—
その他事業	—	—
合計	5,527,943	5,826,764

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 金額は、販売価格によっております。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度		当第2四半期連結累計期間	
	受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
プレカット事業	5,414,220	1,849,516	6,106,226	2,199,252
建築請負事業	1,637,340	552,071	1,735,295	937,344
不動産賃貸事業	—	—	—	—
その他事業	—	—	—	—
合計	7,051,560	2,401,587	7,841,521	3,136,596

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当第2四半期連結累計期間
プレカット事業	5,569,216	5,756,490
建築請負事業	1,690,535	1,350,021
不動産賃貸事業	166,983	272,505
その他事業	377,231	99,333
合計	7,803,966	7,478,351

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。